

ありまふじ里山だより

Vol.32

『ありまふじ里山だより』では、棚田里山エリアの自然の様子や里山保全に向けた取り組みについてご紹介します。Vol.32は里守の会の活動の様子とかやぶき民家の周囲で見られる季節の花についてお届けします。



里守の会、活動日！

棚田と里山の間には、ササが生い茂る一角があります。前回に続いて今回もササ刈りをおこないました。

刈り取ったササはけっこうな量になります。これを有効活用できるといいのですが。

畑では4月に植えたジャガイモを収穫しました。小ぶりなものもありましたが、たくさん穫れました。ほかにもトマトやキュウリ、伏見甘長を収穫。お盆の頃になると、よく目にするほおずき。畑で育てているほおずきは食用ほおずきと言って、袋状の萼（がく）に包まれた実を食べることができます。

順調に育っている野菜の一方、落花生や大豆は葉っぱに食べちぎられたような跡が見られます。なにかの食害でしょうか。畑を通して小さな虫から獣まで、様々な生きものの存在が身近に感じられます。

季節の花

かやぶき民家の周囲では、背丈ほどもあるヒマワリやピンクのきれいな花が特徴のカワナデシコが咲いています。

夏のヒマワリとかやぶき民家の共演は、里山らしい絵になる風景です。

